

# CASBEE 新築[簡易版]

# 評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2010年版 使用評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010(v.1.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ハイコート浅野	階数	地上15F
建設地	福岡県北九州市小倉北区江南町2番	構造	RC造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	363 人
気候区分		年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	工場、病院、集合住宅、等	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年12月 0.0	評価の実施日	2011年4月10日
敷地面積	3,515 m <sup>2</sup>	作成者	定森 淳一
建築面積	2,505 m <sup>2</sup>	確認日	2010年7月10日
延床面積	18,665 m <sup>2</sup>	確認者	定森 淳一



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0**

S: A: B+: B: C:

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.8**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

**LR のスコア = 3.2**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.2

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	診療所、デイサービス等と有料老人ホーム、高専賃貸住宅等の複合ビルで高齢者の居住性・利便性を追及した建物である。	その他
Q1 室内環境	空調は「ハイコート」方式でゾーン別に個別方式としている。また窓が大きく昼光率が高く、居住部分はバルコニーの庇とカーテンの組合せでグレア対策をしている。	Q3 室外環境(敷地内)
LR1 エネルギー	太陽光発電設備を設置あり。空調方式は効率の良い「ハイコート」方式を採用。	LR3 敷地外環境
Q2 サービス性能	事務所はOAフロアーにより高度情報通信設備に対応し、住宅はブロードバンドが利用可能となっている。外壁は御影石、小口タイル貼りとし、空調給排水配管も耐用年数の高いものを使用している。また、階高を十分とり、配管用トレンチを設けるなど設備の更新性にも配慮している。	Q3 室外環境(敷地内)
LR2 資源・マテリアル	水栓や便器は節水型を採用、部材の再利用可能性向上の取組としてOAフロアーや住戸間仕切の軽鉄間仕切などを採用している。	LR3 敷地外環境

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される  
 LCCO<sub>2</sub>の算定条件等については、「LCCO<sub>2</sub>算定条件シート」を参照されたい